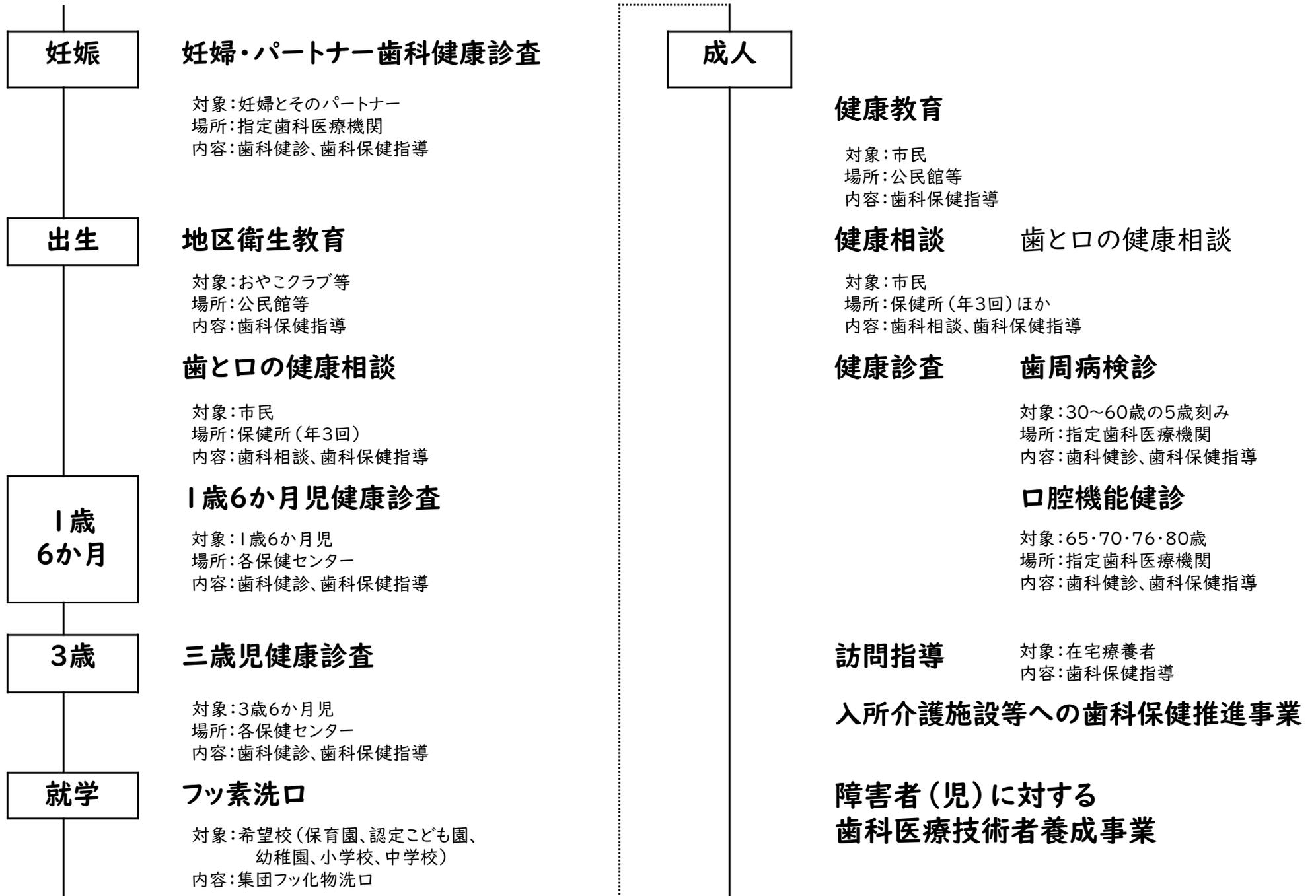


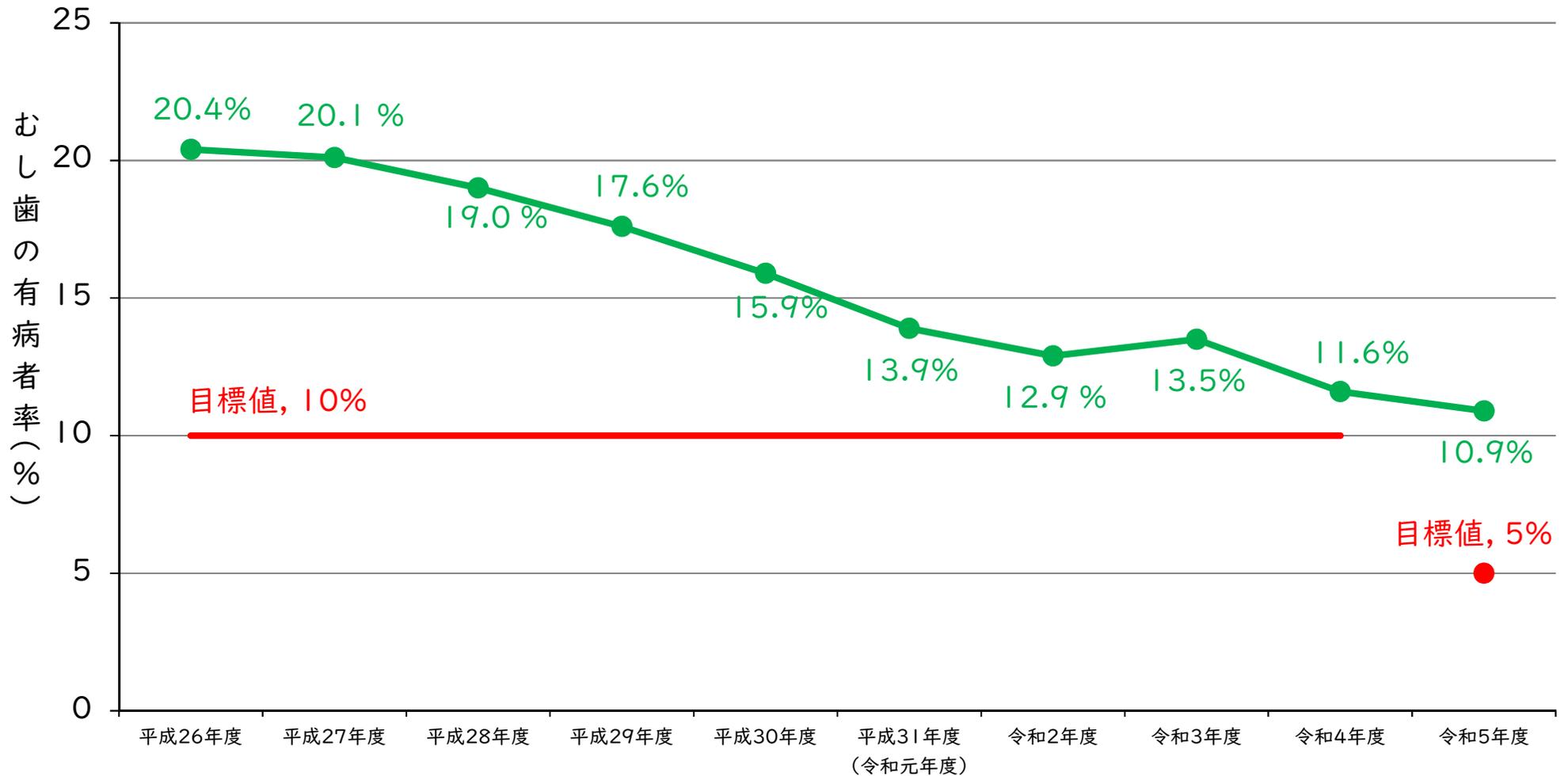
岡山市の歯科保健の現状と 岡山市歯科保健基本計画（第2次） 策定以降の取組

岡山市の歯科保健事業の体系



三歳児のむし歯（未処置・治療済み・抜歯の合計）の有病者率の推移

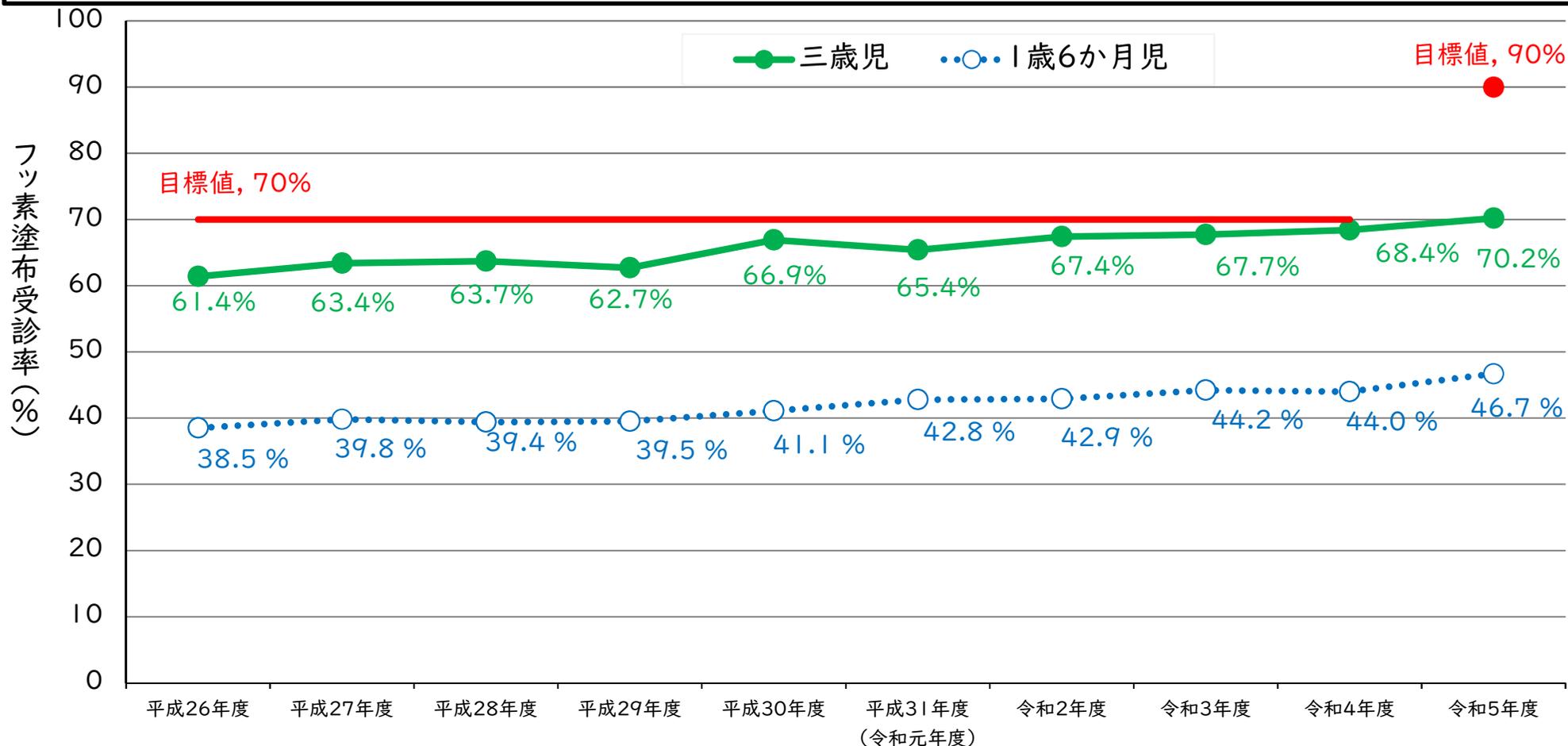
乳歯のむし歯は減少している。歯科保健基本計画（第2次）では、5%を目標値とした。



受診者数 (人)	6,036	5,889	5,983	5,985	6,002	5,807	5,664	5,597	5,297	5,263
----------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

フッ素塗布を受けている幼児の割合の推移

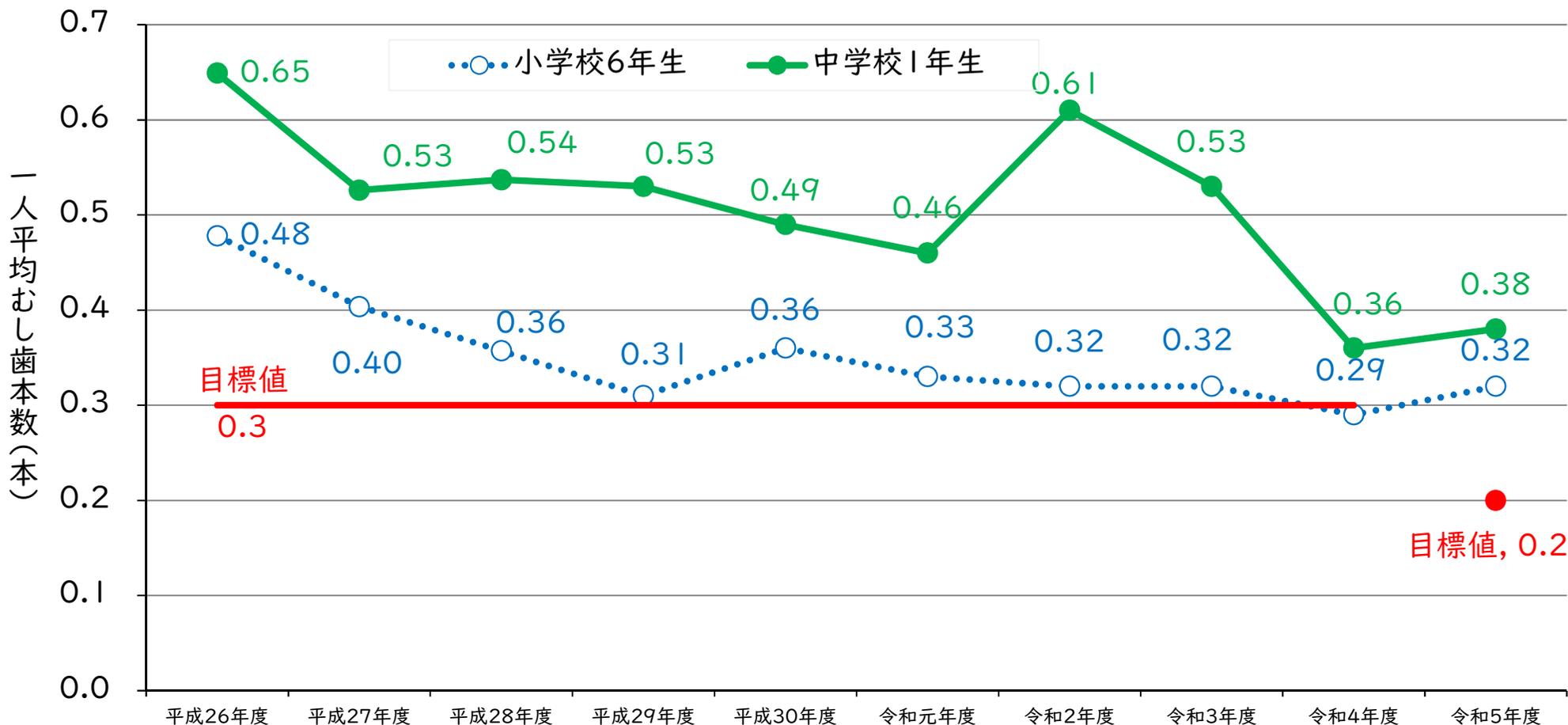
フッ素塗布を受けている幼児の割合は増加しているが、三歳児健康診査時点で、90%の受診率を目指すため、1歳6か月児健康診査時にフッ素塗布を受けていない幼児（第1子）を対象に、最寄りの歯科医療機関を紹介している。



受診者数 (人)	年齢										
	三歳児	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
三歳児	6,036	5,889	5,983	5,985	6,002	5,807	5,665	5,597	5,297	5,263	
1歳6か月児	6,104	6,061	6,211	6,006	5,734	5,750	5,473	5,325	5,046	5,071	

永久歯の一人平均むし歯数(未処置・治療済み・抜歯の合計)の推移

永久歯のむし歯は、あまり減少していない。
 歯科保健基本計画(第2次)では、12歳児(中学校1年生)の目標値を0.2本とした。



受検者数(人)	年度									
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
小学校6年生	2,504	2,463	2,428	2,425	2,245	2,406	2,468	2,424	2,376	2,417
中学校1年生	1,231	1,234	1,218	1,191	1,237	1,245	1,142	1,216	1,210	1,232

岡山市学校保健概要調査より健康づくり課にて算出

小学校1年生向け 永久歯むし歯予防リーフレット

効果的なむし歯予防方法を啓発するため、市内歯科医師会連合会と協力し、リーフレットを作成中。来年度以降、小学校1年生を対象に、歯科保健教育等で活用する予定。

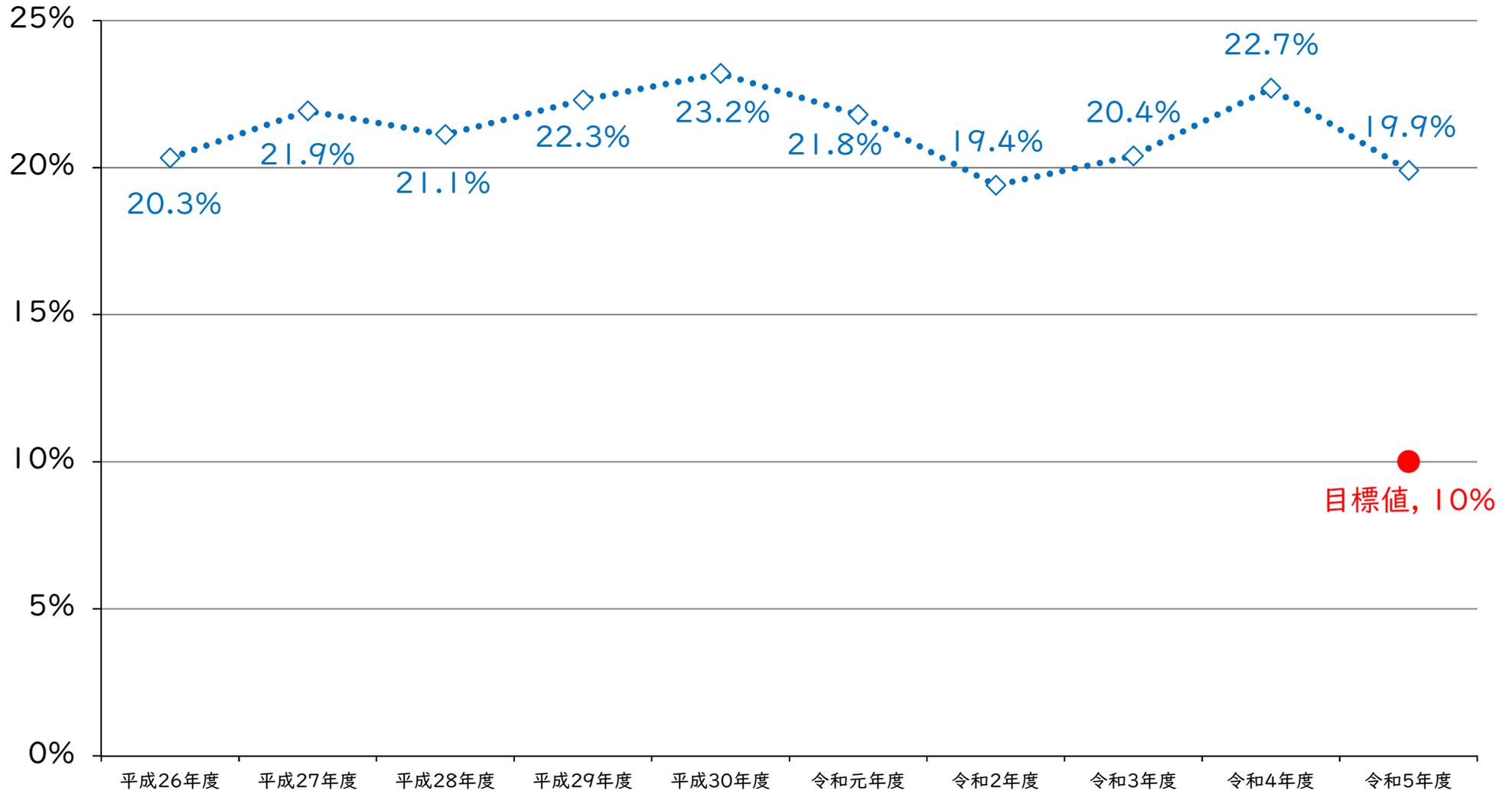


概要

配布先	市内の小学校1年生 (永久歯が生え始める時期)
配布時期 (予定)	6月(歯と口の健康週間)頃
内容	効果的なむし歯予防方法について、間違い探して啓発 ①フッ素入り歯磨き剤の使用 ②フッ素入り歯磨き剤の使用量 ③フッ素入り歯磨き剤を使用した際のうがいの水の量 ④フッ素洗口液の使用

中学生における歯肉に炎症所見を有する割合の推移

中学生の歯周病の割合は、減少していない。
 歯科保健基本計画（第2次）では、目標値を10%とした。



受検者数 (人)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	17,936	17,824	17,569	17,258	16,869	16,678	15,686	16,445	16,275	16,217

岡山市学校保健概要調査より健康づくり課にて算出

中学校2年生向け 歯周病予防パンフレット

効果的な歯周病の予防方法を啓発するため、市内歯科医師会連合会と協力し、パンフレットを作成中。来年度以降、中学校2年生を対象に、歯科保健教育等で活用する予定。



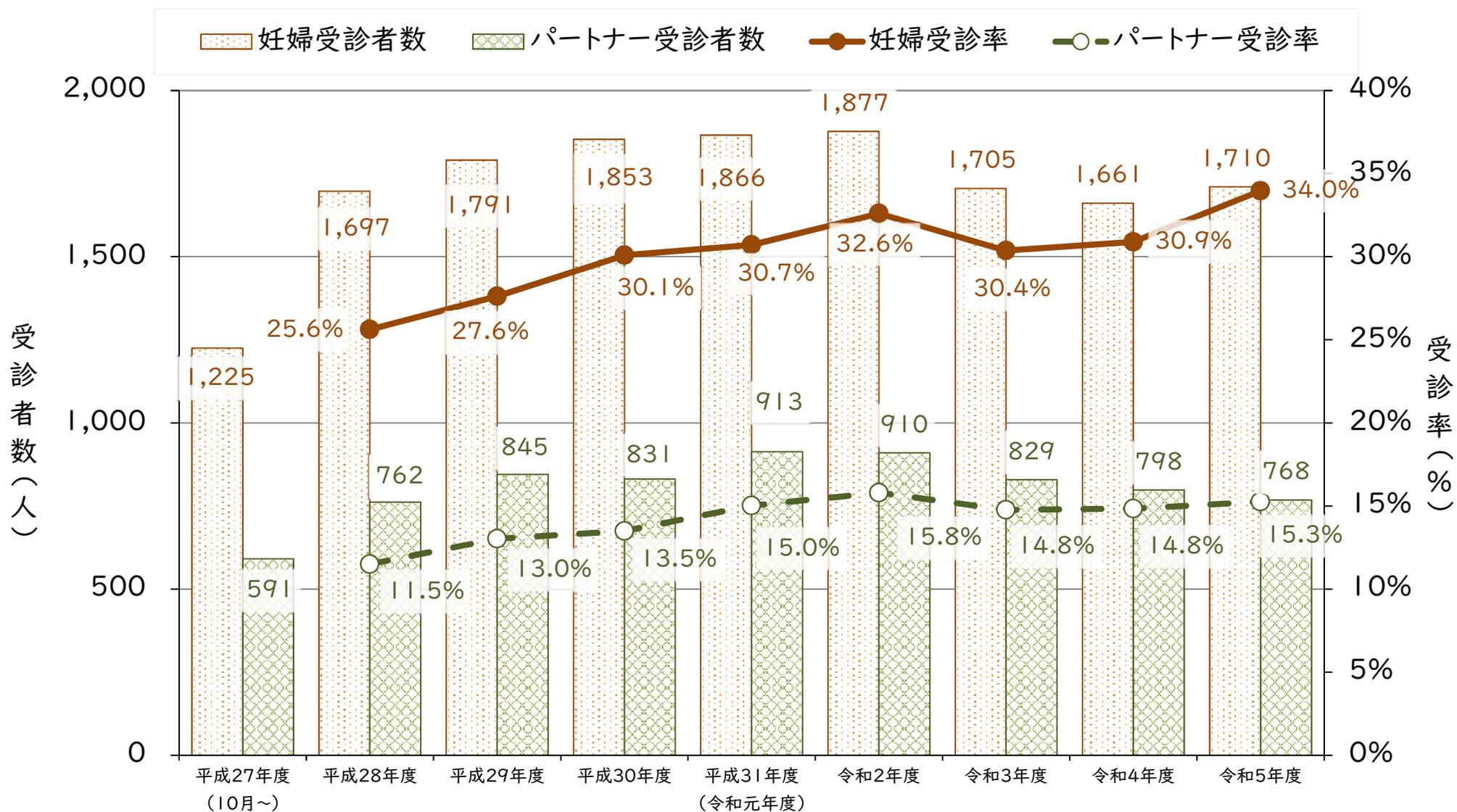
制作協力：中国デザイン専門学校

概要

配布先	市内の中学校2年生 (生活習慣病について学習する学年)
配布時期 (予定)	二学期頃
内容	効果的な歯周病予防方法について、漫画風に啓発 歯肉炎について セルフケアのポイント プロフェッショナルケアについて

岡山市 妊婦・パートナー歯科健康診査 受診者数の推移

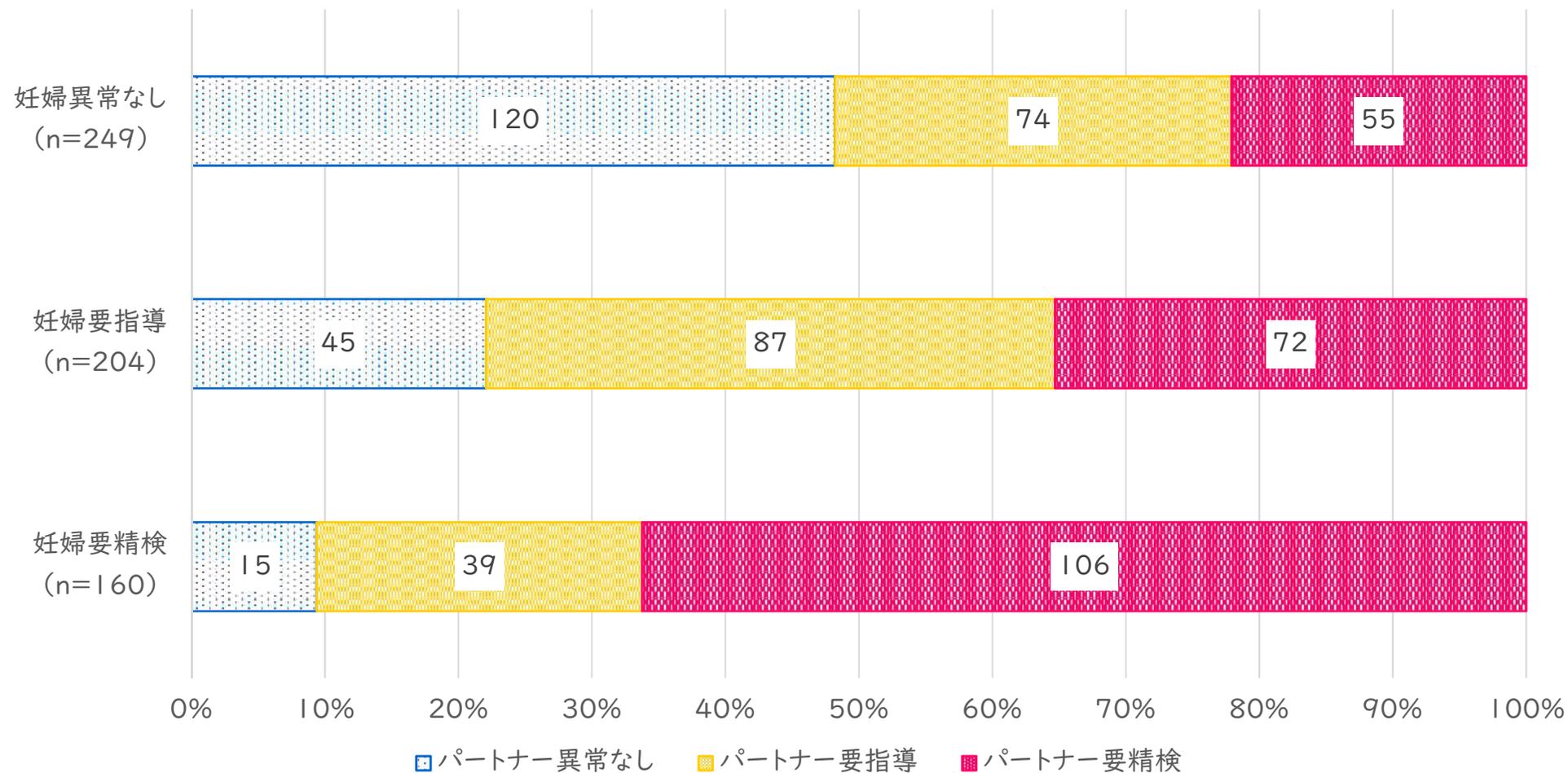
妊婦とパートナー自身については、歯科検診の受診率向上、
生まれてくる児については、フッ素塗布率の向上やむし歯予防が期待できる。



*受診率(%)=受診者数/妊娠届出者数*100

岡山市 妊婦・パートナー歯科健康診査の結果

妊婦・パートナーともに受診した613組の結果。
妊婦・パートナーともに、良好な口腔内状態を保つことが大切。



歯周病検診・口腔機能健診 実績

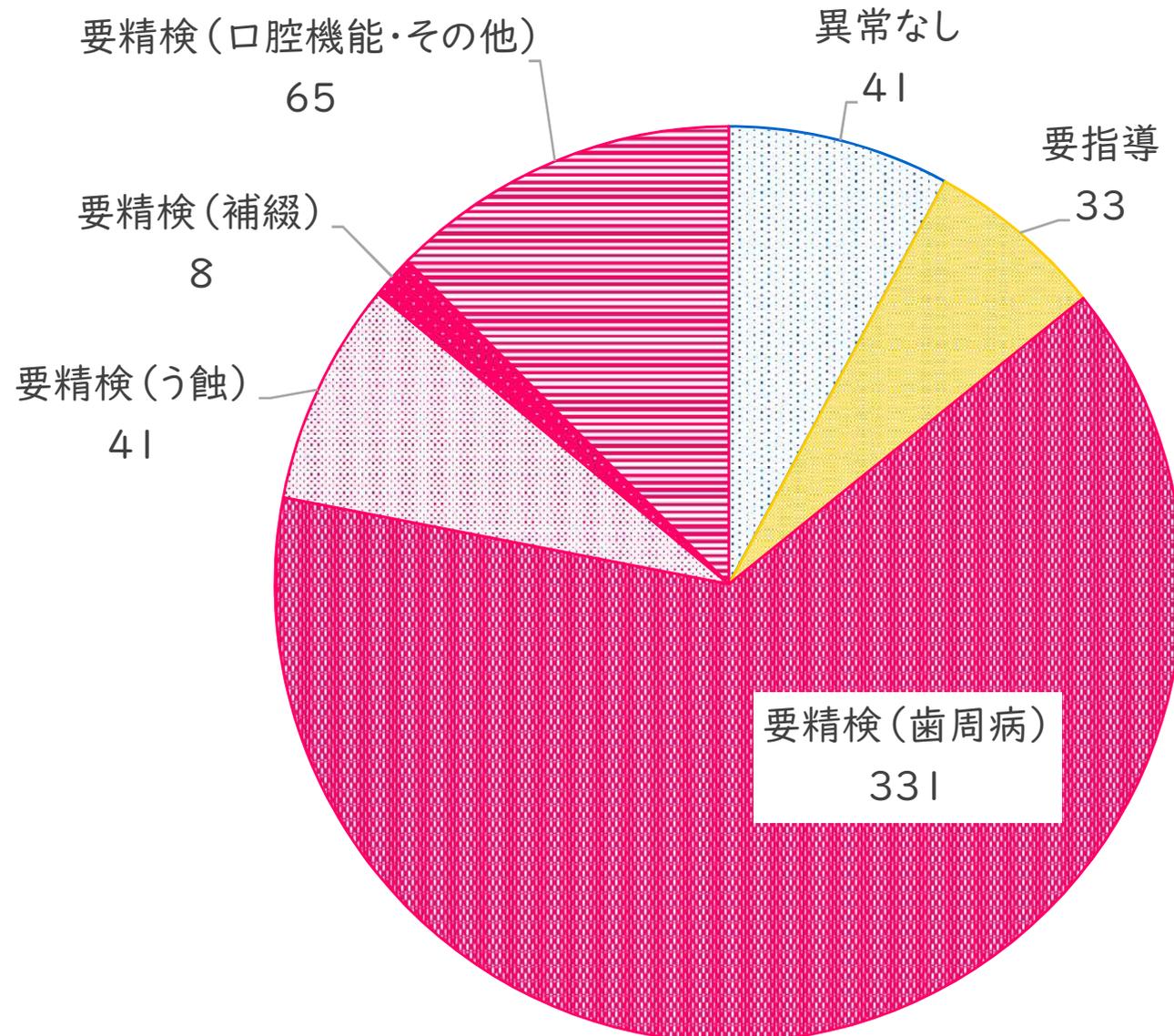
受診者数が少ないのが、課題である。
口腔機能の低下にも対応する必要がある。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
30歳	5	6	6	7	4
35歳	6	13	5	5	5
40歳	8	11	9	12	17
45歳	13	16	21	9	15
50歳	21	29	20	22	15
55歳	19	10	18	26	30
60歳	29	30	34	22	39
65歳	105	69	87	139*	221*
70歳	218	139	156	138	129
76歳	35	224*	135*	36	34
80歳	—	128*	110*	24	10

(人) *: 個別通知

歯周病検診・口腔機能健診の結果

受診した519名の約86%は、要精密検査。



成人対象の歯科検診事業の変更等について(案)

令和6年度までの事業内容

■ 歯周病検診

歯の喪失の主要な原因である歯周病を早期に発見し、歯科医師・歯科衛生士が直接受診者の口腔内を磨く術者磨きを中心とした歯科保健指導を行い、歯周病の治療と定期的な歯科受診等適切な歯科保健行動の実践につなげるため、市内の指定歯科医療機関において歯周病検診を行う。

■ 口腔機能健診

口腔衛生や口腔機能低下の問題の恐れがある者に対し、口腔機能等のスクリーニングを行い、精密検査や治療につなげるため、市内の指定歯科医療機関において口腔機能健診を行う。

課題・方向性

検診事業の受診者数が少ない。
20～40歳代(特に、男性)の歯科検診の受診率が低い。
60歳以前から、口腔機能の低下が認められる。

20歳対象の歯科健康診査(無料)を実施する。
30歳から5歳刻みで実施していた歯科検診を10歳刻みで実施する。
口腔機能健診は、60歳からを対象にする。

国の動向

歯周病検診の補助対象に、20歳・30歳が拡大された。

令和7年度以降の対象者

	令和6年度(現状)	令和7年度
歯科健康診査	—	<u>20歳</u>
歯周病検診	30・35・40・45・50・55・60歳 (国保:40～70歳HbA1c5.6以上の該当者に受診勧奨)	<u>30・40・50歳</u> (国保:40～70歳HbA1c5.6以上の該当者に受診勧奨)
口腔機能健診	65・70・76・80歳 (65歳に個別通知)	<u>60・70・76・80歳</u> (<u>60歳</u> に個別通知)

【参考】

	歯科健康診査	歯周病検診	口腔機能健診
検(健)診項目	問診、口腔内検査、 <u>歯のクリーニング</u>	問診、口腔内検査(歯肉の検査)、 歯科保健指導(術者磨き)	歯周病検診(術者磨き無し) +口腔機能検査

入所介護施設等への歯科保健推進事業

介護保険施設の歯科検診の実施率向上のために、令和4年度より、施設の協力歯科医による利用者全員を対象とした歯科検診を行う事業を開始した。
介護保険制度の改定もあり、今年度は、事業の利用希望数が増加した。令和8年度まで、本事業を継続する予定。

	令和4年度 (実績)	令和5年度 (実績)	令和6年度 (実績)	令和7年度 (予定)	令和8年度 (予定)
施設数 (施設)	2	7	20	10	10
人数 (人)	77	403	1,037	1,000	1,000

<利用施設からの声(例)>

専門職から口腔のチェックやケアの仕方を教えてもらえて、よかった。
利用者の費用負担がないので、普段、歯科にかかっていない人も診てもらえて、よかった。